

高圧トランス・コンデンサ等について、現状の年間処理台数で処理残台数の処理が進んだとした場合の処理期間(新たな対策は含んでいない)

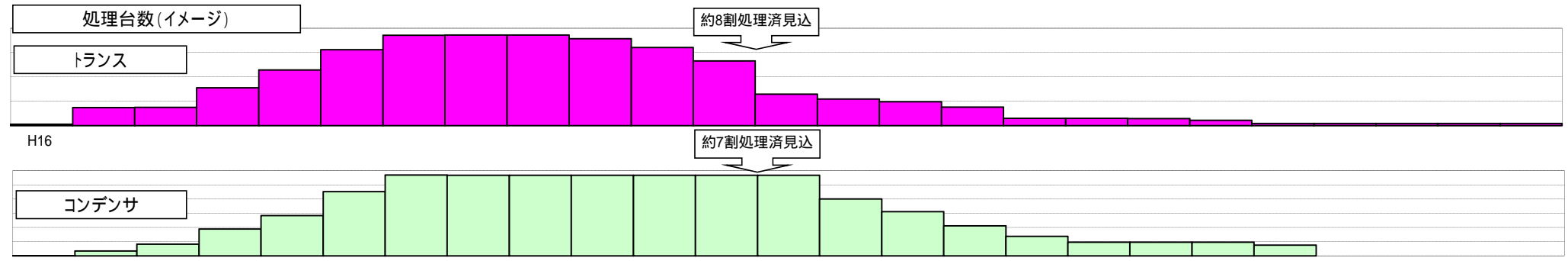
前提

- (1) 処理対象物量 …… J E S C O登録台数+届出済みJ E S C O未登録台数+J E S C O未登録使用中
- (2) 処理台数/年 …… 年間の処理見通し台数。各事業所現状の実績処理量をベースに処理困難性を見込み設定。

主な留意点

- (1) 処理対象物量については推計を行なっているため、不確定要素がある。
- (2) 漏洩物や超大型物等の処理困難性の程度については、更に実際の処理に取り組む中で明確となるため、不確定要素がある。
- (3) 操業に伴い発生する二次廃棄物の処理、機器を集約して搬入することがより難しくなること等、処理ペース低下要因がある。
- (4) 各事業所の大型トランスの重量は目安。重量がこれを下回っても寸法的に小型ラインで処理が不可能なものについては大型ラインでの処理を行う。

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	
		H22年度未処理台数		処理期間																
		残台数	/年																	
北九州	大型トランス (2t以上)	284	40	[処理期間]																
	小型トランス	1,174	232	[処理期間]																
	車載型トランス	105	41	[処理期間]																
	コンデンサ	36,877	6,087	[処理期間]																
豊田	大型トランス (1.6t以上)	284	38	[処理期間]																
	小型トランス	538	200	[処理期間]																
	車載型トランス	698	27	[処理期間]																
	コンデンサ	33,129	5,102	[処理期間]																
	特殊形状コンデンサ	約5,000	—	(現有施設では作業環境上の問題があり対策を検討中)																
東京	大型トランス (5t超)	392	15	[処理期間]																
	小型トランス	2,803	321	[処理期間]																
	車載型トランス	9	3	[処理期間]																
	コンデンサ	66,198	4,801	[処理期間]																
大阪	大型トランス (2.5t超)	238	20	[処理期間]																
	小型トランス	1,657	314	[処理期間]																
	車載型トランス	65	19	[処理期間]																
	コンデンサ	54,207	5,791	[処理期間]																
北海道	大型トランス (1.62t超)	659	51	[処理期間]																
	小型トランス	2,260	506	[処理期間]																
	車載型トランス	348	34	[処理期間]																
	コンデンサ	50,812	6,630	[処理期間]																
	大型コンデンサ	560	—	(現有施設では作業環境上の問題があり対策を検討中)																



H16 * この他に処理が必要なものとして、二次廃棄物(活性炭、防護服等)、保管容器等が存在する。